

最新

70
モデル

**狙える!
飛ばせる!!**

データで分かる 潜在能力

5番 アイアン 重心スペック

シンプルな形状ながら、さまざまな工夫がなされているアイアン。最近は“ぶっ飛び系”的登場で、選択肢はますます広がりを見せている。そんな、多くのヘッドの中から“ベストマッチ”を探す際に参考にしてほしいのが重心スベック。ボンテンシャルを丸裸にするデータを参考に、頼れる一本を見つける。

測定協力=株フォーティーン
撮影=山岡邦彦、中川和泉、石塚康

※機種：E5アイアンヘッドを通常・スベック表

データは実測値のためメーカー発表値とは異なる場合があります。慣性モーメントは±100g·cm程度の測定誤差が生じます

2mmとやや短めの重心距離でシャープなリフークにも応える仕上がり。ストレートティックを定め、重心角は11.2度と適度に設つかまりも考慮。重心高は18.4mmと抑え、
らの球筋をサポートする。

57.1° 2205_{±0} 24.5° 60.0° 4.1° 35.2° 4.0° 18.4° 11.2°

定したミートで
距離をねらう

重心距離は37mm台と適度に設計、12.4度の重心角でつかまりを考慮。20.4cmの重心高でヒッティングエリアを広げ、5.1mの重心深度が上下のミスヒートに威力を発揮。21.8度のストロングロフトで飛距離を稼ぐ。

重量	慣性	ロフト角	ライ角	U/F	重心位置	重心浮力	重心面	重心角
50.5	2452	21.8°	60.0°	3.6	37.1	51	20.4	12.4°

・**しっかりたたけて**
・**距離離さず視野に**

リストワークに応える33.8mの短重心距離で直線ネックで狙いを定め、重心角は度と抑えてしまかりたがる仕様。2.8mmの重心がよけいなスピンドルを抑制し、23度台とのロフトで飛距離も意識。

257.6° 2317 μ m 23.9° 61.0° 4.7 μ m 33.8 μ m 2.8= 19.2= 8.5°

実につかまえて
定したミート

インパクト力を高める41mm超の重心距離に、強めのロフトで飛距離を重視。21.1mmの重心高が打点エリアを広げ、3000g・cf超の高慣性モーメントとともに安定したミートを促進。グースネック、13.4度の重心角でつかまりも。
特-中級ゴルファーの打点に合わせた長い重心距離設定

基盤	側性	ロフト角	ライズ角	下ト	重心位置	重心高	重心心	
253.2	3001	23.6°	61.6°	0.5°	41.6°	3.8	21.1°	13.4°

A close-up image of a golf club head, specifically a driver, featuring the Dunlop brand name and model identifier.

しっかりとらえて
高弾道の飛び